

令和7年度 第1回福祉サービス運営委員会報告書

- 1 開催日時 令和7年11月10日（月） 13時30分～ 14時30分
- 2 会 場 大分県福祉社会事務局3階会議室
- 3 出 席 者
(第三者委員) 仲元研二氏 森脇 宏氏 吉田 隆氏 溝邊博見氏
(利用者家族委員) 梶 容子氏 仁田脇理帆氏 後藤小百合氏
(事業所委員) 安東一夫施設長 関谷眞佐子施設長 安藤 覚施設長 堤 郁夫施設長
阿南奈緒美施設長
(法人代表) 安藤 覚理事長（森の木理施設長）
- 4 次 第 (1) 開会 (2) 委嘱状交付 (3) 理事長挨拶 (4) 委員長選任
(5) 委員長挨拶 (6) 議事（本部、各施設の報告、協議、総評） (7) 閉会
- 5 内 容
委嘱状交付 森脇 宏氏 委嘱期間 令和7年6月17日～令和8年3月31日

委員長選任 事務局からの提案を承認された

委員長 仲元研二氏

安藤理事長、仲元委員長の挨拶後、委員長の進行で事務局及び各施設の現状と苦情や要望等の状況報告及び協議

（説明・報告）

（1）本部事務局

- ① 重点的取組、法人の現状について説明
新たな理念及びビジョンに基づき目指すべき将来像を実現するため、中期事業計画の着実な推進に努め、安定した経営を維持し、利用者や地域の皆様から理解と信頼を得られるよう課題を明確にし、取組んでいることを報告した。
- ② 苦情及びヒヤリハット・事故報告～なし。
- ③ その他
・任期満了に伴い、評議員・理事・監事の改選実施。新理事長 安藤 覚が就任

（2）別府厚生館

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
・定員 16 世帯（暫定 12 世帯）、8 世帯 22 名が入所中である。
・安定した運営基盤づくりを進める、利用者支援の充実を図る、施設の多機能化・高機能化に取り組む、人材育成・定着に取り組む、リノベーションを推進する。
- ② 苦情等について
・意見箱への投書および口頭によるもの なし。
- ③ ヒヤリハット及び事故報告
○服薬（3件）
・咳止め薬を服用する際、風邪薬を渡し忘れる。→ 内服薬を渡す手順を再確認。
・同じ薬が処方されている姉弟に量を間違え服用させそうになる。（2件）
→ 職員立ち合いのもと一人ずつ服用。
- 幼児がおもちゃ箱の蓋に腕を挟む（ケガはなし）→ 蓋の開閉は、職員が行うことを周知する。幼児が遊ぶ時間はあらかじめ蓋を外しておく。
- 郵便物の受渡し→ 別の利用者の郵便物を渡し、受取った利用者が間違いに気づかず開封してしまう。
郵便物を他の利用者のボックスに入れる。→ 渡す前に間違いに気づく。
- ④ その他
・コロナ感染～利用者 3 名、職員 1 名 インフルエンザ感染～利用者 1 名

（3）うえの園・清明あけぼの学園

- ① 重点的取組・施設の現状について説明
・支援ニーズの高い障がい者が安心できる居場所づくり、子どものウェルビーイングの実現、事業継続マネジメントの実践、人材マネジメントの推進、質の高い相談支援事業の提供、公益的事業の充実に取り組んでいる。
・うえの園 施設入所支援：20 名（定員 20 名） 生活介護：29 名うち通所利用 9 名（定員 20 名）。
・日中一時支援・短期入所定員 2 名。
・相談支援事業所：特定相談支援～計画作成並びにモニタリング数 185 件。

障害児相談支援～計画作成並びにモニタリング数 254 件。

- ・清明あけぼの学園 施設入所 10 名（定員 10 名）。
　　日中一時支援、短期入所 定員 2 名。
 - ・児童発達支援事業所 ミモザ（定員 10 名）
- ② 苦情・要望
- ・意見箱 なし。
 - ・口頭にて 1 件 うえの園へ朗読ボランティアの方より／活動している同じ部屋で他の業務をしている職員の声や態度が気になった。 → 事実確認後、職員へ指導を行った。

③ ヒヤリハット（うえの園 2 件、清明あけぼの学園 6 件）

- ・随時、LINWORKS や引継ぎなどで情報共有を行い注意喚起や改善などを実施。

④ 事故報告（うえの園 19 件、清明あけぼの学園 6 件）

《うえの園》不適切支援 1 件 他害 4 件（うち 1 件職員へ） 転落 1 件 転倒 3 件 服薬 1 件 その他 9 件

- ・不適切支援

5 月 28 日非常勤生活支援員が廊下に座り込んでいる女性利用者へ繰返し移動を促しているとき、右足靴の側面を 1 度蹴る（それによるケガはなかった。）という行為があった。

→ 大分市障がい者虐待防止センター（市障害福祉課）へ報告。利用者に対する不適切な支援が確認された職員について、事実確認のうえ出勤停止の措置を実施した。今後は再発防止のため、職員への指導・研修を行い、適切な支援体制の維持に努める。

- ・男性利用者による他害や転倒（頸 4 針、左耳後ろ 6 針縫合）、転落（頭部 14 針縫合）異食などが頻発している。 → 環境改善や受診などにより状態の改善に取組んでいる。

- ・病院の駐車場にて公用車をバックしすぎフェンスへの接触事故を起こした。

- ・夕食後の投薬で男性利用者に他利用者の薬を飲ませた。バイタル測定や行動観察を行い特変なし。 → ダブルチェックの徹底をするよう厳重注意をした。

《清明あけぼの学園》転倒 3 件 器物破損 1 件 その他 2 件

- ・車椅子なしで自力歩行ができるよう訓練中の小学生男児が、バランスを崩し転倒することがある。

- ・病院の駐車場にて公用車のハッチバックを木に接触、ガラスが粉碎する事故を起こした。

⑤ その他

- ・新型コロナウイルス陽性者：うえの園 職員 1 名

- ・男性利用者低ナトリウム血症の為入院 7 月に 18 日間、精神科への医療保護入院 9 月 20 日に入院

（4）森の木

① 重点的取組と現状について説明

- ・安全安心に生活できる環境づくり、施設の高機能化・多機能化の推進、人材育成、職員のスキルアップ、働きやすい職場づくりの推進。
- ・本体施設 19 名（定員 24 名）、地域小規模 9 名（定員 12 名）。
- ・被虐待児童入所率（82.1%）療育通所児童（28.6%）ひとり親家庭（82.1%）。
- ・子育て支援事業（ショートステイ等 298 日、一時保護 34 人延 568 日）ゆずりは・HOPE 相談等 6325 件（R6）。

② 苦情等

- ・聴き耳頭巾意見箱への投書等 なし

③ ヒヤリハット及び事故報告

（1）ヒヤリハット

- ・賀来小中学校の制服を購入。後日、中身を確認すると、スカート、セーター、ベストが入っていないかった。購入時に中身の確認をしていなかったことによる。購入時に必ず確認を行うことを徹底。
- ・幼稚園から帰りの走行中、セレナの 3 列目に座っていた男児がドアボタンを押し、後部ドアが開いてしまう。2 列目に乗っていた職員（実習生）が気づき、転落はなかった。チャイルドロックを徹底。
- ・高 2 男児の弁当に、ユニット職員がアレルギー食のプチトマトを入れてしまう。本児が気づき食べではない。調理、ユニット職員含め、アレルギー対応について、再確認を行った
- ・服薬…就寝前の入眠導入剤を飲ませ忘れる。児童に健康被害等異変はなかった。

※ヒヤリハット事案については、職員会議で全職員に周知し、注意喚起を行っている。

（2）事故報告

- ・訪問を終え戻る途中、右折しそびれたため、U ターンしようとコインランドリー駐車場に入った際、道路標識に気付かず運転席側ドア側が衝突。ケガはないが、運転席側ミラーとドア、道路標識を損傷。
- ・研修から私有車にて帰宅途中、交差点にて接触事故。職員は狭い道から低速で侵入したものの、右から走行してきた乗用車（バン）が避け切れず、先方の右後部ドア付近と当方の右前方が接触。
- ・地域小規模きんもくせいの駐車場から出る際に、左側ブロック塀に公用車の左後方フェンダーを擦る。

運転者の明らかな不注意によるもので、厳重注意。

- ・大分こども病院の駐車場裏から帰園途中、道を間違えたため方向転換しようとバックした際に、カーブミラーに衝突。リアガラスが割れバックドアが凹む。児童・職員にケガなし。不注意によるもので厳重注意。
- ・中1男児が賀来公園に自転車で遊びに向かう際、近隣アパートの駐車場から道路に飛び出し、自動車と接触。車が低速であったため、右手首と両ひざの擦り傷で済んだ。念のため受診したが、異常はなかった。
- ・高2男児が自転車で登校途中、府内大橋先の横断歩道で対向してきた高校生の自転車と衝突。本児にけが無く、相手方も病院にて検査したが異常はなかった。

※ 交通事故については、職員会議・朝の引継時などあらゆる機会に声掛けを行い注意喚起するとともに、外部講師による研修を実施した。

④その他

- ・中2男児、喘息で入院（3日間）
- ・高3男児、骨折治療後のボルト除去のため入院（9日間）

（5）滝尾保育園

① 重点的取組・現状について説明

- ・保育環境と保育内容の安定充実、職員研修の充実、働きやすい職場作り、公益的事業の充実、SNSを活用した情報発信に取り組んでいる。
- ・地区の家「えんえん」開設。令和7年5月1日（木）より事業開始。
- ・園児数 221名（定員 200名）、一時預かり登録児数 28名、放課後児童育成クラブ在籍児数 85名。

② 苦情・要望等 保護者との意思疎通に関する園の対応について苦情が寄せられた。

→ その都度保育・幼児教育課とも連携をとり対応している。

③ 事故報告

- ・噛みつき 47件（1歳児 42件、2歳児 5件）と多いが、発達段階での言語表現との関係によるものである。
- ・病院受診 2件
 - 1) 令和7年5月1日（木）1歳児クラス
原因不明の湿疹の為、迎えを待つ間にチアノーゼ症状が出て救急車要請、受診。その後回復し帰宅。
 - 2) 令和7年8月8日（金）5歳児クラス
園児が他児の目付近を叩き、眼科受診。

④感染症の状況

手足口病 1名、感染症胃腸炎 42名、水痘 6名、新型コロナウイルス 5名（職員 7名）
突発性発疹 10名、リンゴ病 13名、溶連菌感染症 5名、ヘルパンギーナ 5名
流行性角結膜炎 3名、その他 9名

⑤その他

- ・病後児保育利用状況 延べ人数 6名（5月～9月）

（6）明野しいのみ保育園

① 重点的取組・現状について説明

- ・保育内容の充実、架け橋プログラム（小学校との連携）着手、子ども主体の保育の充実、ICT化の定着とDXの推進、働きがいのある職場づくりと保育現場の魅力発信、公益的事業の充実に取り組んでいる。
- ・園児数 153名（定員 152名）。

② 要望及び苦情

- ・近隣住民より保護者の運転マナーについて改善を求められる。
→ 保護者への運転マナー向上についてお願いを連絡アプリにて配信。
- ・保護者より登園基準についての説明を求められる。
→ 病状別の登園基準について説明。担任へも再度確認をした。

③ ヒヤリハット及び事故報告

（ヒヤリハット）

- ・毎月リスク委員会で集計、職員に周知、4月～10月で 121 件。
- ・噛みつき 27 件（主に 1～2 歳）
- ・備蓄用ピラフに乳が含まれていたが、調理員の確認不足でアレルギーのある子に誤って提供。→家庭では既に試している段階で健康上の異常は見られなかった。原材料名の確認をダブルチェックで行うようにする。
- ・他～（園児）転倒、送迎で部屋の出入口が空いた時に部屋から出て行く、異物を口に入れる、公園で石やボールを道路に投げる（職員）勝手口の施錠忘れ

(事故報告) 病院受診したもの（〇歳児は学年齢）。

- ・5歳児) 公園で友達が投げた砂が目に入る。眼科受診し洗浄と除去をしてもらう。終了。
- ・1歳児) お昼寝前に並べていたスタッキングベットの間を走り転倒し右足甲に内出血が見られた。整形外科受診し打撲の診断。湿布を貼り終了。
- ・1歳児) 室内で転倒し口腔内出血、歯科受診。出血はあるが歯に問題なし。終了。
- ・1歳児) 室内で転倒し口腔内出血、歯科受診。出血はあるが歯に問題なし。一度再診し終了。
- ・5歳児) 平均台に上がるとして誤って転倒し左眉尻を打撲。受診しCT撮影、異常なし。
- ・1歳児) 室内で転倒した際、壁面玩具の突起物で後ろ頭を打ち出血。受診し消毒とテープの処置。その後4回通院し終了。

④ 病気・感染症等の状況

伝染性紅斑（16）溶連菌感染症（13）新型コロナウイルス（15）内職員4）ヘルパンギー（11）ウイルス性胃腸炎（8）
突発性発疹（5）他、RSウイルス感染症、ヒトメタニューモウイルス、マイコプラズマ肺炎、手足口病、おたふく風邪、
アデノウイルス、百日咳が散見された。

⑤ その他

- ・近隣で集合住宅の建築工事開始7月末まで 送迎時の安全を呼び掛けている。
- ・門扉のセキュリティ工事を行い、安全対策を強化した。

（協議）

○委員より

- ・別府厚生館：入所利用者やご主人が外国籍の方はいますか。
→現在別府厚生館についてはいません。
月3回見守りで通学路に立っていると母子ともに良い関係で挨拶をしています。
町内会報は、現在施設に1部ですが、各世帯ごとに配布できるよう準備をしたいと思います。
→大変助かります。
- ・うえの園、清明あけぼの学園：児童発達支援事業所はどこの所属ですか。
→障害児のサービスですので、清明あけぼの学園の所属になります。
この委員会に家族代表として参加しているので、他のご家族の声を聞く機会として総会の時にもっと来てもうような機会を作ってほしいです。また、（入所者）日常的な様子が伺えるような小さなつながりでよいので、方法を考えてほしいです。
→施設でLINWORKSを使っているので、ご家族とLINEでつながるなど考えていきます。
- ・森の木：聞き耳頭巾の相談は、少なくおそらく楽しく生活できているようです。困りごとは無いようだが、雑談などを通じて外部の方と話をする良い機会となっているようです。
- ・滝尾保育園：日頃からよく子どもたちのことを見てもらっていて感謝しています。
- ・明野しいのみ保育園：SDGsの体験など、先生たちが先のことを目指してより良い保育をしていると感じています。また、架け橋プログラムを楽しみにしています。

○森委員の総評

- ・職員の方たちの負担や人が足りているのか、困りごとがないのか働き方時間の工夫など機会があれば悩み事など知らせてほしい。

○理事長あいさつ

各施設自分の足場を固め、職員の負担を軽減していくようにと考えているところですが、職員採用には苦慮しているところです。とはいえ、色々な策をとりながら人材確保を行っていきます。職員数につきましては、規定以上に確保しており、子どもの笑顔のために職員一同懸命に取組んでいきます。

7 閉会

全ての日程を終了し、14時30分閉会。